

運賃値上げとストライキ による運行休止 疲弊する学校教員

(JR東海 8月号)
(朝日新聞 8月25日)

N 4

2009. 8. 27

J R 東海 労 東 二 運 分 会

全ての所員のみなさん！

見た方もいると思いますが、「JR東海」8月号の「海外事務所報告」にロンドン事務所、中村所長の報告が載っていました。報告の内容の一部を筆者なりに見ると英国では、一部の列車運行会社で毎年のように運賃値上げをし、年に2回も上げている会社もある。車掌労組が日曜出勤の強制に反対してストライキをした。日曜日が休日（労使確認しているはず）の会社は、休日をとる車掌の代わりに管理者が乗務して運行を維持している。周囲の期待は下がり、あきらかに変わっている、です。

(詳細は配布済みの、JR東海8月号を読んで下さい)

これは見た方がいるでしょうか？朝日新聞8月25日の生活面に「職場のホ・ン・ネ」として50才の男性教員から「疲弊する学校教員」という投稿がありましたので、これは全文紹介します。

「勤務先の私立中高一貫校は朝早くから夜9時すぎまで授業があります。就業規則では夕方5時半までの勤務と決められていますが全く守られていません。タイムレコーダーもなく、何時間授業しても一円も残業手当は支払われません。もちろん、公立の学校同様、部活動など仕事は山積みです。人を人扱いしない学校でどうして人を教育できるでしょうか」、というものです。

J R 東 海 ユ ニ オ ン 組 合 員 の み な さ ん ！

この二つの記事は全く関連はありません。英国の鉄道や労働組合のことは分かりません。教育職場の実態も分かりません。しかし、職場の労働条件に関する事では共通しています。私たちの職場の休日勤務やサービス労働と同じです。英国も日本も労使には労働協約があります。

ユニオン分会大会が、来月あるようです。年休がとれなくて流れることや、一方的な休日勤務や呼び出し、そして慢性的な要員不足の解消を求めてください。

「組合員 ユニオンライで 職場変え」 C D 頑爺

しゅじんこう